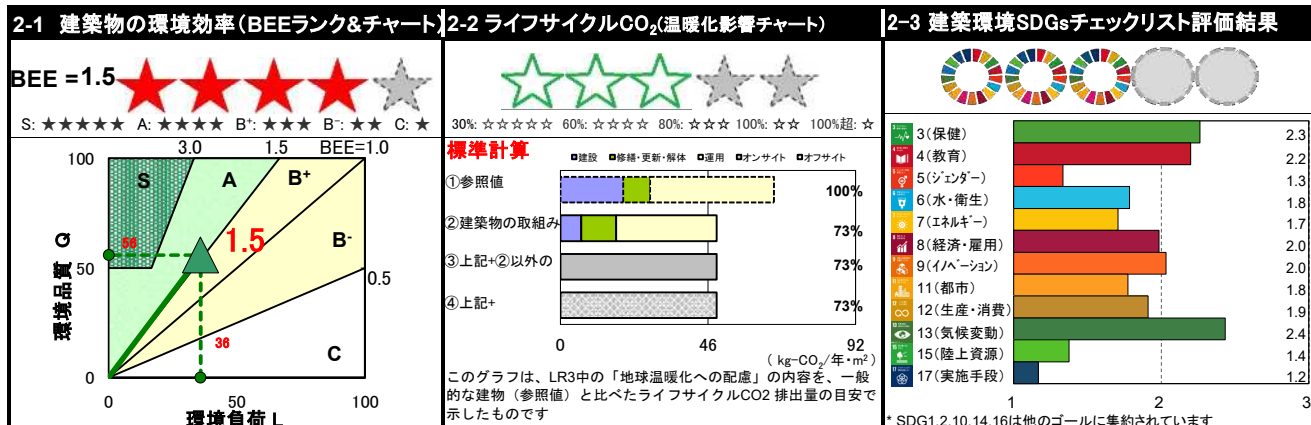


CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

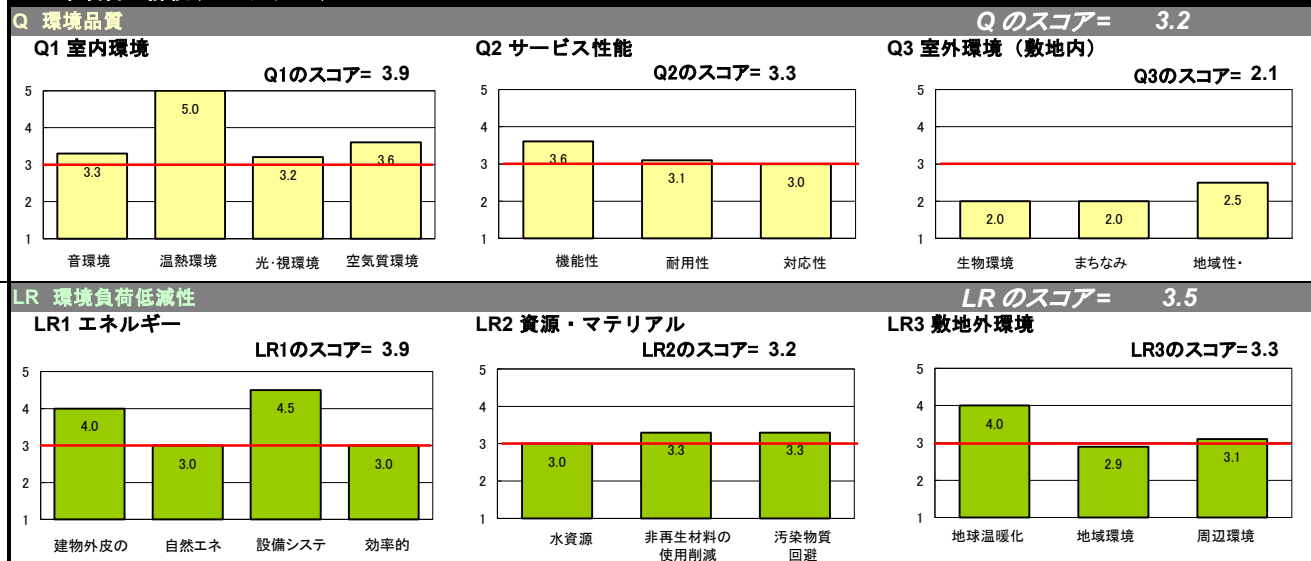
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西明石駅南地区まちづくりマ	階数	地上20F
建設地	兵庫県明石市西明石南町3丁目607	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,360 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年6月 予定	評価の実施日	2024年12月23日
敷地面積	8,621 m ²	作成者	ジェイアール西日本コンサルタ
建築面積	1,790 m ²	確認日	2024年12月24日
延床面積	27,613 m ²	確認者	ジェイアール西日本コンサルタ



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
内装建材にF☆☆☆☆規格品を全面的に採用し、室内環境に配慮した。	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明など高効率な設備を採用した。	木下地を採用し分別を容易にすることで、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている	ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される